

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公開番号】特開2017-221711(P2017-221711A)

【公開日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-049

【出願番号】特願2017-157752(P2017-157752)

【国際特許分類】

A 61 J 3/07 (2006.01)

A 61 K 9/48 (2006.01)

【F I】

A 61 J 3/07 A

A 61 K 9/48

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月6日(2018.4.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

最後に、本出願において、用語"有する"が他の要素又はステップを除外せず、"1つの"("a"又は"an")が複数を除外せず、単一のプロセッサ又は他のユニットが幾つかの手段の機能を満たしてもよいことが指摘される。本発明は、あらゆる新規の特徴的フィーチャ及び特徴的フィーチャのあらゆる組み合わせにある。更に、請求項内の参照符号は、範囲を限定すると解釈されるべきでない。

なお、本願は、特許請求の範囲に記載の発明に関するものであるが、他の態様として以下も包含し得る。

1. 患者に少なくとも1つの薬物を投与する方法において、前記患者の少なくとも1つの個人用パラメータによって決定される送達プロファイルを用いる電子ピルによる前記薬物の送達を有する方法。

2. 前記個人用パラメータが、

特にシトクロム発現に関する、前記患者の遺伝子型の一部、

特に前記患者の消化管内の特定のタンパク質の発現に関する、前記患者の表現型の一部

、
前記投与される薬物に関連した前記患者の身体内の物質、特に血液、尿、又は呼気内物質、の量、

薬物動態データ及び/又は前記薬物投与に対する前記患者の応答、

共投与薬物のプロファイル、

の少なくとも1つを有することを特徴とする、

上記1に記載の方法。

3. 前記個人用パラメータが、前記薬物投与に対する前記患者の予測される応答に関連することを特徴とする、上記1に記載の方法。

4. 前記個人用パラメータが、前記患者の消化管内の特定の生体分子の分布、特にP-糖タンパク及び多剤耐性タンパクのようなATP結合力セット族のメンバの分布に関連することを特徴とする、上記1に記載の方法。

5. 前記送達プロファイルが、時間及び/又は消化管内の場所に対する薬物吐出速度を有することを特徴とする、上記1に記載の方法。

6. 前記薬物動態データ及び／又は患者応答が、特に前記電子ピルによる、前記薬物の投与中にサンプリングされることを特徴とする、上記1に記載の方法。

7. 前記送達プロファイルが、前記薬物の投与の間及び／又は後に調節されることを特徴とする、上記1に記載の方法。

8. 上記1に記載の方法を実行することを可能にするコンピュータプログラム。

9. ローカル又は広域電気通信ネットワーク上の上記8に記載のコンピュータプログラムの送信。

10. 患者に対する少なくとも1つの薬物の投与に対する電子ピルにおいて、薬物リザーバと、前記患者の少なくとも1つの個人用パラメータによって決定される送達プロファイルを用いて前記薬物リザーバからの前記薬物の制御される送達に対するコントローラとを有する電子ピル。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- 薬物リザーバと、

患者の少なくとも1つの個人用パラメータによって決定される送達プロファイルを用いて前記薬物リザーバからの前記薬物の制御された送達のためのコントローラと、
を有する患者に対する少なくとも1つの薬物の投与のための電子ピルであって、

前記少なくとも1つの個人用パラメータが：

- 前記患者の血液、尿、又は呼気内の薬物動態データ；

- 前記薬物投与に対する前記患者の応答；又は

- 共投与薬物のプロファイル；

の少なくとも1つを含み、

前記送達プロファイルは、

- 送達されるべき薬物の配合と、

- 送達されるべき薬物の量もしくは薬物の送達速度と、

- 薬物が送達されるべき消化管内の1以上の場所と、

を包含する、電子ピル。

【請求項2】

請求項1に記載の電子ピルであり、前記個人用パラメータが、薬物投与に対する前記患者の予測される応答に関連することを特徴とする、電子ピル。

【請求項3】

請求項1に記載に電子ピルであり、前記患者の消化管内の特定のタンパク質は、P-糖タンパク及び多剤耐性タンパクを含むことを特徴とする、電子ピル。

【請求項4】

請求項1に記載の電子ピルであり、前記送達プロファイルが、時間及び／又は消化管内の場所に対する薬物吐出速度を有することを特徴とする、電子ピル。

【請求項5】

請求項1に記載の電子ピルであり、薬物動態データ及び／又は患者応答が、当該電子ピルにより、前記薬物の投与中にサンプリングされることを特徴とする、電子ピル。

【請求項6】

請求項1に記載の電子ピルであり、前記送達プロファイルが、前記薬物の投与の間及び／又は後に調節されることを特徴とする、電子ピル。